

習時間も「多い→少ない」になっている。

上位群には、「週平均」にも「授業日」にも、さすがに20分以下はみられないが、日曜日になると、20分以下の数が増えてくる。このことは、成績上位の児童でさえも、遊びと作業にかたよってしまって、生活のバランスをくずすおそれのあることを示している。

ごく少数ではあるが、成績上位グループの6年生に、一日平均5時間30分という児童がいる。このよし悪しは別として、驚嘆に価することである。

農家、非農家別にみると、農家の4、5年生には、授業日平均141分以上はみられないが、6年生になると少数ではあるが長時間学習する児童がみうけられる。

授業日には非農家の児童が、日曜日には農家の児童が、学習時間を多くとっている傾向がみられた。このことは、調査の時期（11月中旬、農閑期）に関係があるものと思われる。

## ② 家庭学習の内容

設定された予習的課題については、ほとんど子どもがやってくるが、予習的課題以外にやってくる家庭学習のおもな内容は、次のようなものである。

- ア. ドリル的なもの（漢字の練習、計算練習など）
- イ. 製作活動（授業の延長、発展としての）
- ウ. 読書（教師にすすめられたもの、文学全集など）
- エ. その他（笛の練習、ノートの整理など）

一時的な現象としては、予習的課題にとらわれすぎ、これだけやれば家庭学習はすんだものとする傾向がみられる。しかしながら、児童の生活にも波があり、徐々に「課題以外にもやる」層の増加がめだってきた。

少数ではあるが、「なんにもしない」児童が学年の後半に出てくることに注意しなければならない。

## ③ 家庭学習に対する興味

「楽しくておもしろい」「楽しくておもしろいときもある」「あまりおもしろくない」「いやでたまらない」「なんとも思っていない」に分けて、6月と12月に調査した結果それぞれ有意差が認められ、全般的には望ましい傾向にすすみつつあるものと思われる。

家庭学習に対する興味、関心は、各自の能力に応じた家庭学習の方法を身につけさせ、予習的課題を設定して学習をすすめる授業によって深めることができると思われる。

なお、興味の内容については、今後の問題として残されている。

## ④ 家庭学習の習慣

「いつでもかならずやる」「だいたい毎日する」「課題があったときだけする」「課題があってもときどきしないことがある」「すこしもしない」に分けて興味調査と同時期に実施した結果それぞれ有意差が認められ、起伏をくりかえしながらも望ましい方向にすすんでいる。40年4月の調査では、「いつでもかならず」（30.9%）「だいたい毎日」（31.3%）「課題があったとき」（28.4%）「課題があっても」（7.9%）となっている。

## ⑤ 児童の余暇生活の内容と生活のバランス

家庭における児童の生活は、学習、遊び、作業、身体維持の4領域から成り立っているが、ここでは、学習、遊び、作業を中心とした余暇生活の内容を調べ、それらが教師や父母の指導によってどのように変わりつつあるか、生活のバランスの面からみつめることにした。

なお、テレビ視聴時間の調整をぬきにしては、児童の家庭における生活の調整は考えられないので、「テレビ視聴」については次の項でふれることにする。

調査項目は、「学習」「けいこ」「読書」「作業」「遊び」「テレビ」「その他」の7項目とした。その結果、細部については問題点が残されているが、傾向としては実験群の方が生活のかたよりが少なく、調和のとれた生活に近づきつつあると思われる。特にテレビ視聴については、時間・内容ともに調整しながら家庭生活にとりくませるといふ実験群の父兄の意気込みが感じられた。

## ⑥ テレビの視聴時間と内容

### ア. 父兄の番組制限

テレビのみかたについては、「好きなまま見聞きさせている」「番組をきめているが、なかなかうまくいかない」「番組をきめて、それだけ見聞きさせている」の3項目について調査した。

番組の決めかたでは、「みんなで決める」がさすがにいちばん多く、しかも高学年になるにつれて多くなる傾向がみられた。「親が一方向的にきめる」は9%前後で少ない。

### イ. 児童の視聴の実態

テレビを見始める時刻は、曜日・内容によって若干の差はあるが、ほぼ6時15分前後である。

テレビを見終る時刻は、8時50分前後が多い。ただごく少数の3%前後の児童が、10時30分頃まで視聴していることに注意しなければならない。

視聴の傾向としては、漫画（空想、科学）・時代ドラマ（チャンバラものが多い）・現代ドラマ（現代の世想を表わしたもの、笑いを主としたもの）・外国もの（漫画、ドラマ）の中から、おもしろそうなものを手当たりしだいに見る傾向がある。

## ⑦ 家庭学習や余暇生活に対する父兄の考え方と問題点

### ア. 学校から帰ってからの時間をどのように過ぎせたらよいか。このことについて、「宿題」

「宿題以外の学習」「遊び」「作業」「読書」「テレビ」の6項目について調査した。その結果、「宿題」については、大部分の父兄が30分～60分前後の時間をかけるよう望んでいることがわかった。

「宿題以外」の学習については、6年の父兄には宿題以外の学習にも時間をさいてほしいという希望が多く、それに対して4・5年の父兄は宿題以外の学習に熱意を示していない。

「遊び」については、他の項目とくらべて分散度が大きく、希望時間がまちまちである。このことは、遊びに対する父兄の考え方に大きな差があることを示している。